

# 第49回定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

第49期（2021年3月期）  
（2020年4月1日から  
2021年3月31日まで）

- ①連結計算書類の「連結注記表」
- ②計算書類の「個別注記表」



法令および当社定款第16条の規定に基づき、当社ウェブサイト  
(<https://www.hardoff.co.jp>)に掲載することにより、株主の皆様  
に提供しているものであります。

## 連結注記表

### 1. 連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記等

#### (1) 連結の範囲に関する事項

##### ① 連結子会社の状況

- ・ 連結子会社の数 6社
- ・ 連結子会社の名称 株式会社ハードオフファミリー、株式会社エコプラス、リンクチャンネル株式会社 ECO TOWN HAWAII INC.、ECO TOWN USA INC.、台湾海德沃福股份有限公司 (HARDOFF TAIWAN INC.)

##### ・ 連結の範囲の変更

前連結会計年度まで連結子会社でありました株式会社エコモードは、2020年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

前連結会計年度まで非連結子会社でありましたECO TOWN USA INC.および台湾海德沃福股份有限公司 (HARD OFF TAIWAN INC.) は、当社グループにおける重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

リンクチャンネル株式会社は全発行済株式を2020年4月1日をもって取得し、子会社としたことから、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

株式会社エコプラスは、2020年10月1日付で株式交換により同社の全株式を取得し、完全子会社としたことから、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

##### ② 非連結子会社の状況

- ・ 非連結子会社の数 1社
- ・ 非連結子会社の名称 ECO TOWN USA FRANCHISING INC.

##### ・ 連結の範囲から除いた理由

非連結子会社の総資産額、売上高、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等のそれぞれの合計額は、いずれも連結計算書類に重要な影響を及ぼしておらず、かつ全体としても重要性が乏しいため連結の範囲から除外しております。

#### (2) 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、ECO TOWN HAWAII INC.、ECO TOWN USA INC.、リンクチャンネル株式会社の決算日は2月28日、台湾海德沃福股份有限公司 (HARD OFF TAIWAN INC.)の決算日は12月31日であります。連結計算書類の作成にあたっては、同日現在の計算書類を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。その他の連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

#### (3) 会計方針に関する事項

##### ① 重要な資産の評価基準および評価方法

##### イ. その他有価証券

- ・ 時価のあるもの 連結会計年度末の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
- ・ 時価のないもの 移動平均法による原価法

##### ロ. たな卸資産

- ・ 商品 主として売価還元法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)  
ただし、加盟店向けの消耗品・備品は月別総平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

②重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ. 有形固定資産（リース資産を除く）

主として定率法 ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法を採用しております。

また、事業用定期借地契約による借地上の建物および定期建物賃貸借契約による建物については、耐用年数を定期借地権または定期借家権の残存期間、残存価額を零とした定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物……………15年～38年  
構築物……………10年～20年  
器具備品………2年～10年

ロ. 無形固定資産（リース資産を除くソフトウェア）

定額法 自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

ハ. リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とした定額法を採用しております。

③重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

④重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めて計上しております。

⑤のれんの償却方法および償却期間

のれんの償却については、8年間で均等償却しております。

⑥その他連結計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

（「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用）

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」（企業会計基準第31号 2020年3月31日）を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表から適用し、連結財務諸表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る内容については記載しておりません。

### 3. 会計上の見積りに関する注記

#### 固定資産の減損

##### (1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

(単位：千円)

	当連結会計年度
減損損失	369,313
有形固定資産他	121,034

##### (2) 重要な会計上の見積りの内容に関する情報

減損損失は、資産または資金生成単位の回収可能価額が、帳簿価額を下回っている場合、当該資産または資金生成単位の帳簿価額を回収可能価額まで切り下げ、当該切り下げ額を減損損失額として認識しております。

有形固定資産他は、減損の兆候がある固定資産の総額を記載しております。

固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

### 4. 連結貸借対照表に関する注記

#### 有形固定資産の減価償却累計額

6,916,961千円

### 5. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類および総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首の株式数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末の株式数
普通株式	13,954,000株	一株	一株	13,954,000株

#### (2) 自己株式の種類および株式数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首の株式数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末の株式数
普通株式	469,779株	250,000株	645,800株	73,979株

#### (3) 剰余金の配当に関する事項

##### ① 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月24日 定時株主総会	普通株式	539,440	40	2020年3月31日	2020年6月25日

##### ② 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度になるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	485,800	35	2021年3月31日	2021年6月25日

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

資金調達に関しては主に自己資金によっており、必要な資金を確保しております。一時的な余資は流動性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

#### ② 金融商品の内容およびそのリスク

投資有価証券は、主に上場企業の株式等であり、発行体の企業価値および市場価格の変動リスクに晒されております。敷金は、主に新規出店時における契約先への預け入れであり、契約先の信用リスクに晒されております。

#### ③ 金融商品に係るリスク管理体制

市場リスク（株価等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し、市況や取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

信用リスク（取引先の契約不履行に係るリスク）の管理

敷金については、店舗開発管理規程に沿ってリスクの低減をはかっております。

#### ④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

(単位：千円)

	連結貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現 金 及 び 預 金	2,197,245	2,197,245	—
(2) 投 資 有 価 証 券	2,231,024	2,231,024	—
(3) 敷 金	1,497,131	1,484,597	12,533
資 産 計	5,925,401	5,912,867	12,533

#### (注) 1. 金融商品の時価の算定方法ならびに有価証券に関する事項

##### 資 産

#### (1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 投資有価証券

これらの時価について、株式等は取引所の価格によっております。

#### (3) 敷金

敷金の時価は、相手先の信用状態および見積り返済期限等に応じたグルーピングを行い、国債の利回り等の利率で割引いた現在価値によっております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区 分	連結貸借対照表計上額
非上場株式	205,500
合 計	205,500

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしていません。

7. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	936円32銭
(2) 1株当たり当期純利益	25円60銭

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

9. 追加情報に関する注記

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う日本政府による緊急事態宣言や自治体からの自粛要請を踏まえ、一部店舗の休業や営業時間の短縮等の対応を行っております。そのため、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一定期間続くものの、徐々に正常化するとの仮定に基づき、減損損失の判定の会計上の見積りを行っております。なお、この仮定は不確実性が高く、収束が遅延し、長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

10. その他の注記

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

- イ. 関係会社株式 移動平均法による原価法
  
- ロ. その他有価証券
  - ・ 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
  - ・ 時価のないもの 移動平均法による原価法

#### (2) たな卸資産の評価基準および評価方法

- イ. 商品 売価還元法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法） ただし、加盟店向けの消耗品・備品は月別総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）
  
- ロ. 貯蔵品 最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### イ. 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法 ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法を採用しております。

また、事業用定期借地契約による借地上の建物および定期建物賃貸借契約による建物については、耐用年数を定期借地権または定期借家権の残存期間、残存価額を零とした定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物……………15年～38年  
構築物……………10年～20年  
器具備品………2年～10年

##### ロ. 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法 自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。また、のれんの償却については、5年間で均等償却しております。

##### ハ. リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とした定額法を採用しております。

##### ニ. 長期前払費用

支出の効果の及ぶ期間で均等償却

#### (4) 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

## 2. 表示方法の変更に関する注記

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度の年度末から適用し、財務諸表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、前事業会計年度に係る内容については記載しておりません。

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取地代家賃」は、重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしました。

## 3. 会計上の見積りに関する注記

### 固定資産の減損

#### (1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

(単位：千円)

	当事業年度
減損損失	131,883
有形固定資産他	113,175

#### (2) 重要な会計上の見積りの内容に関する情報

減損損失は、資産または資金生成単位の回収可能価額が、帳簿価額を下回っている場合、当該資産または資金生成単位の帳簿価額を回収可能価額まで切り下げ、当該切り下げ額を減損損失額として認識しております。

有形固定資産他は、減損の兆候がある固定資産の総額を記載しております。

固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

## 4. 貸借対照表に関する注記

#### (1) 有形固定資産の減価償却累計額

4,315,773千円

#### (2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務(区分表示したものを除く)

短期金銭債権

292,815千円

短期金銭債務

12,761千円

## 5. 損益計算書に関する注記

### 関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高

254,620千円

営業取引以外の取引高

156,625千円

## 6. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における自己株式の種類および株式数

普通株式

73,979株

## 7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、減損損失および資産除去債務の否認等であり、繰延税金負債の発生の主な原因は、その他有価証券評価差額金等であります。なお、繰延税金資産と繰延税金負債とは、相殺して表示しております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

役員及び個人主要株主等

種 類	会社等の名称	議 決 権 の 所 有 (被所有)割合(%)	関 連 当 事 者 と の 関 係	取 引 内 容	取 引 金 額 (千円)	科 目	期 末 残 高 (千円)
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等	ヤマモトキャピタル東京株式会社	—	不動産賃貸 役員の兼任	東京オフィス及びモードオフ上野御徒町店の賃貸	41,508	前払費用	3,459

上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 賃料の決定は、近隣の取引実績に基づいて決定しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

- |                |         |
|----------------|---------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 950円92銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 13円22銭  |

10. 追加情報に関する注記

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う日本政府による緊急事態宣言や自治体からの自粛要請を踏まえ、一部店舗の休業や営業時間の短縮等の対応を行っております。そのため、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一定期間続くものの、徐々に正常化するとの仮定に基づき、減損損失の判定の会計上の見積りを行っております。なお、この仮定は不確実性が高く、収束が遅延し、長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

11. その他の注記

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。